

地域農業の振興と農業経営の発展に向け 山武郡市農業者発表大会



12月3日、横芝町文化会館を会場に平成10年度山武郡市農業者発表大会が開かれました。

この発表大会は、山武郡市内で活躍している農業者が一堂に集い、農業経営や生活改善などの優良事例を互いに発表し、情報交流を行うことで、地域農業の振興と農業経営の発展を図ろうと行われているもので、今年も郡内各市町村から選ばれた6名の方々が、自分自身の体験をもとに、今後の農業経営のあり方などについてを発表しました。

当町からは、中台園芸組合の怒賀眞二さんが「専用収獲機を利用した秋冬ニンジンの経営改善について」と題し、スライドを使って実績発表を行い、集まった約250名のみなさんから大きな拍手を浴びていました。

また、午後からは、地域興しマスター「石崎キヨミ先生」による『個性の輝き、ゆとりの経営』と題した講演も行われ、参加したみなさんは熱心に受講していました。

依然として厳しい農業情勢ですが、地域農業の振興と農業経営の発展に向けみなさん頑張ってください。

「町内一日清掃」

33トンのゴミを収集！

12月6日（日）、本年度2回目の「町内一日清掃」が各地区で一斉に行われました。今回収集されたゴミは、汚泥、雑草等が約15トン、カンやビン、粗大ゴミ等が約10トン、その他紙類、プラスチック類等の可燃ゴミが約8トンも収集されました。

「町内一日清掃」は、町の環境美化に大きな成果があがりましたが、依然として後をたたないのが“不法投棄”です。町では不法投棄監視員を設置し、監視員のみなさんに定期的に巡回等を行なっていただいております。

『ゴミゼロ』に向け、町民のみなさんのご協力をお願いします。



きれいなまちはみんなの願い

漁村の生家跡に 「生誕二百周年記念碑」を建立

11月22日の日曜日、幕末の儒学者として知られる郷土の偉人『海保漁村』の生誕二百周年記念式典が挙行されました。

この日、式典が行われた北清水の漁村の生家跡には、實川町長をはじめ関係者のみなさんが多数出席。昭和14年12月15日に県の指定史跡となった「海保漁村先生生誕の處」の石碑わきに、新たに「海保漁村先生生誕二百周年記念碑」が建立され、出席者のみなさんの手によって除幕されました。



生家跡には新たに「生誕二百周年記念碑」が建立されました

郷土の偉人『海保漁村』

海保漁村は、寛政十年（一七九八年）十一月二十二日、上総国武射郡北清水村（現在の横芝町北清水）の村方の医師の三男として誕生。父が医師のかたわら、寺子屋の師匠をしていたこともあって幼少の頃から勉学に励む。

二十二歳で江戸に出た漁村は、幕府御殿医多木桂山の内弟子を経て儒学者太田錦城の塾に入門。

やがて門下の第一人者となった漁村は、江戸の下谷（現在の東京都台東区）に塾を開き、一般庶民の子弟を対象に学問を教授。

中国古典の研究や著作活動にも精進し、名譽や利害をかえりみず、ひたすら庶民の教育に生涯を捧げた。その成果は当時の儒学界で高く評価されたと伝えられている。

門弟には政治家・鳩山和夫や実業家・渋沢栄一、文学者・嶋田重礼などがいる。

晩年の漁村は、佐倉藩で儒学を講義するとともに、幕府医学館の儒学教授として多くの学生を指導した。

数々の業績を残した漁村は、慶応二年（一八六六年）六十九歳で他界。江戸本所（現在の東京都墨田区）の普賢寺に葬られている。

なお、町所有の漁村に関する著書「周易古占法」・「漁村文話」など十冊が昨年十二月に町文化財として指定されました。